



岡山産業保健推進センター

《おかやまさんぽメールマガジン》 第18号 2009年8月3日(月)

発行 岡山産業保健推進センター 所長 石川 紘



I N D E X

- 1 大事なお知らせ
*母性健康管理研修会が開催されます
- 2 相談員アドバイス
『これからの新型インフルエンザ メンタル対策』
勝田 吉彰
- 3 センターからのお知らせ(相談・研修・行事案内等)
- 4 編集後記

1 大事なお知らせ

■母性健康管理研修会が開催されます■

男女雇用均等法では、事業主に対して、妊娠中及び出産後の女性労働者に必要な母性健康管理の措置の実施を義務付けています。本研修会は、産業医等の産業保健スタッフの皆様に、母性健康管理についての知識を深めていただくための研修会です。皆様の御参加をお待ちしております。

日 時： 11/5(木) 13:30~16:40

場 所： ピュアリティまきび
定 員： 50名
受 講 料： 無料
備 考： この研修を受講された医師・産業医の方々は、日本医師会「認定産業医」基礎後期研修3単位、または生涯専門研修2単位・更新研修1単位が取得できます。

母性健康管理研修会の参加お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

2 相談員アドバイス

これからの新型インフルエンザ メンタル対策

岡山産業保健推進センター 相談員 勝田 吉彰

当メールマガジン、前回の執筆にて新型インフルエンザで予想される心理的反応と備えについて紹介しました

(<http://www.okayama-sanpo.jp/pdf/mailmaga/m-20-08.pdf>)。

その後、実際に新型インフルエンザの流行が始まり、現在も岡山県含め静かに深く感染が拡大しています。気温と湿度が下がる秋冬以降、流行第二波が予想されています。第二波がどのような形でやって来るのかは誰にもわからないわけですが、過去のパンデミック、たとえば1918年スペインインフルエンザの歴史に学べば、ぐっと重症度が高くなった形でやって来ました。歴史が繰り返すなら感染者数・重症化率ともぐっとアップすることも視野に入れねばならず、この春以上に社会不安が高まることが懸念されます。世界に目を転じると、執筆時点（7月24日）現在においても、タミフル耐性例が5例発生（デンマーク・大阪・香港・カナダ・山口）し、北米大陸では基礎疾患無き重症化例で若者が次々人工呼吸器につながれ、英国保健相は「妊娠するのはインフル収束まで待て」「将来40人/dayのペースで犠牲者発生かも」等々発言し物議をかもし等々、日本国内で起これば雰囲気が一変するであろう

う事象が多発しています。

さて、そんな中、様々な「噂・流言」が流れ社会不安を高めてゆきます。逆に、「噂・流言」をできる範囲内でも抑えることが出来ればいくらかでも身の回りの不安は軽減できるかもしれません。この、噂・流言が拡大する条件として、オルポートとポストマンの法則という概念があります。流言の量 (R) は、「重要さ (i)」と「あいまいさ (a)」の積で表される ($R \sim i \times a$) というものです。したがって、「あいまいさ」を最小化することが噂・流言を最小化し、いくらかでも社会不安緩和することにつながるかと思われまます。情報は、わかった事から“ちぎっては投げ式”にどんどん社会に情報提供し「あいまいさ」を軽減することがカギとなります。これは産業保健に携われる皆さまにおかれても社内においてぜひ意識していただきたいところです。常日頃から新型インフルエンザ関連情報には高くアンテナを立て、得られた情報はこまめに社内に流してゆく。

また、何らかの症状が出たとき、それを申告しやすい雰囲気づくりも欠かせません。新型インフルエンザに感染したことにより、白い目で見られたりしかねない雰囲気職場に残っていたりすると、「否認」の心理機制が働く可能性があります。これは、にわかには受け容れられない事態が生じたとき、心の中で「なかったこと」にして平衡を保とうとする無意識のはたらきで、たとえば、癌の宣告を受けたときに「自分が癌のはずがない！ 医者の誤診だ！」と受け容れられない状態を考えていただければと思います。新型インフルエンザは癌と異なり予後は良好なことが多いですが、職場で仲間はずれや人事上不利益が予想されれば似た経過を辿りかねません。保健担当者だけでなく、社長まで巻き込み、新型インフルエンザ感染は一切人事上不利益を受けないこと、発熱したら入社しないこと（それにより一切不利益を受けないことを保証すること）等々宣言してもらおうのも一法でしょう。

ささやかながら、新型インフルエンザ情報ブログを運営しております。若干なりともお役に立てれば幸いです。また、本ブログの「ブックマーク」欄からは幅広いジャンルの新型インフルエンザ情報にアクセス出来ます。あわせて御利用ください。

新型インフルエンザ・ウォッチング日記 <http://blog.goo.ne.jp/tabibito12>

3 センターからのお知らせ (相談・研修・行事案内等)

■ 産業医研修会 ■

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

日 時： 9/3 (木) 19:00～21:00

場 所： 岡山労災病院3階会議室

研修テーマ： 『メンタルヘルスの実際2』

『企業でよくあるQ&Aに基づくメンタルヘルス対策』

: グループワーク

講 師： 高尾 総司 (岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師)

神里 英吾 (岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 非常勤研究員)

定 員： 50名

受 講 料： 2,000円

日 時： 10/8 (木) 19:00～21:00

場 所： 岡山労災病院3階会議室

研修テーマ： 『判例から学ぶ健康管理における法律実務』

講 師： 松原 健一 (安西法律事務所)

定 員： 50名

受 講 料： 2,000円

日 時： 11/19 (木) 19:00～21:00

場 所： 岡山労災病院 3階会議室
研修テーマ： 『産業医から見た健康管理における判例の意義』

講 師： 高尾 総司（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師）
定 員： 50名
受 講 料： 2,000円

日 時： 12/10（木） 19：00～21：00
場 所： 岡山労災病院 3階会議室
研修テーマ： 『メンタルヘルスの実際3』
『企業でよくあるQ&Aに基づくメンタルヘルス対策』
： グループワーク

講 師： 高尾 総司（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師）
鈴木 越治（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 助教）
定 員： 50名
受 講 料： 2,000円

■ 岡山産業保健推進センター主催セミナー・研修会 ■

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ
<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

【健康管理研修会】

日 時： 8/12（水） 14：00～16：00
場 所： 岡山第一生命ビルディング 3階 共用会議室
研修テーマ： 『健康診断結果の見方と事後措置について』
内 容： 健康診断結果の見方をおさらいし、事後措置について解説します。

講師： 中村相談員

【カウンセリング研修会】

日時： 8/20（木）14：00～16：00
場所： 岡山第一生命ビルディング3階 共用会議室
研修テーマ： 『職場のメンタルヘルスとカウンセリングⅠ』
内容： 職場のメンタルヘルス講義と傾聴の講義
講師： 武田相談員

産業医研修会・セミナーのお申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

- ▼研修会の受付は3階共用会議室で行います。直接会議室へお越し下さい。
- ▼今後、研修会開催場所に関しては変更になる可能性があります。
変更になった場合は、速やかに御連絡いたします。
- ▼当センターの研修会、貸出教材、メールマガジン、ホームページの内容など各種事業に関する御意見、御要望を下記メールアドレスにEメールにて御遠慮なくお願いいたします。

E-mail : info@okayama-sanpo.jp

4 編集後記 （キャンペーン活動の実施）

7月7日（火）岡山コンベンションセンターにて「岡山地方産業安全衛生大会

「&快適・健康フェア」が約500人の参加で開催されました。

当センターの広報活動として、参加者の方に「事業のご案内」等を資料の中に入れお持ち帰りいただき、会場内にブースを出展して平成20年度調査研究報告書等を配布しました。

これからもどんどん広報活動をしていきたいと思っております。

関係団体・事業場にも無料で出向いていきますので、一声かけていただけたら幸いです。

業務係長 佐古

今回の第19号は9月1日（火）の配信予定です。

- ▼ 教材情報・センター情報の詳細確認、利用申込等は下記のホームページURLからアクセスしてください。
- ▼ Eメールアドレスの変更、配信停止なども下記メールアドレスへお願いします。
- ▼ 著作権法の規定により、他者の著作物を私的な目的以外で複製することは禁止されていますので、必ず守ってください。
- ▼ 当メールマガジンは、リンク先サイトの内容やプライバシーについて、責任を負うものではありません。利用者自身の責任においてご利用ください。
- ▼ このメールは配信専用メールアドレスから配信されています。そのまま返送いただいてもお答えできませんので、必ず info@okayama-sanpo.jp へ御返送ください。
- ▼ バックナンバーはホームページの「メールレターを配信しています！」に掲載しております。

■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□ ■□

独立行政法人 労働者健康福祉機構岡山産業保健推進センター

〒700-0907

岡山県岡山市北区下石井 2-1-3

岡山第一生命ビルディング 12階

TEL : 086-212-1222

FAX : 086-212-1223

H P : <http://www.okayama-sanpo.jp/>

E-mail : info@okayama-sanpo.jp

